

「体験ナースをとおして」(中2)の授業について

1 はじめに

表題の授業をするということで相談を受けました。「道徳の読み物資料では主人公の心情を読み取るのではなく、資料から道徳的価値について考える。」ということをもとに授業展開を考えました。1時間の授業で出す発問は次の通りとしました。

<読み物資料>

内容の理解を深める補助発問を2～3つ

資料から道徳的価値について考える発問を1つ

<生活の振り返り>

読み物資料を踏まえて生活の振り返りから道徳的価値を考える発問を1つ

生活の振り返りから道徳的価値を考えることが難しい場合は、自分に引き寄せて考える発問を1つ

2 授業展開

- (1) 教材名 体験ナースをとおして / (2) 主題名 輝く生命
(3) 内容項目 D-(19) 生命の尊さ
(4) ねらい かけがえのない生命を与えられていることに気づいて感謝し、自他の生命を尊重しようとする心情を培う。

(1)～(4)は指導書より

(5) 授業展開

<導入>

質問 今日命について考えます。今までで「命」について何か感じた経験はありましたか。

→ 深入りしない。経験を思い出させる程度で良い。交流などはしない。

→ 経験がある人ない人で挙手をさせ、生徒の実態をつかむ。これにより発問4の展開を使い分ける。

<資料からの発問>

発問1 p102 ㉒～㉓ 「私」は赤ちゃんにミルクを与えながら、どんなことを感じたのだろう。

→ ペアで交流する。全体で交流する。

発問2 p103 ㉔～㉕ 「私」は、初めての出産で心細いはずの母親の満面の笑みを見て、どんなことを考えたのだろう。

→ ペアで交流する。全体で交流する。

発問3 p104 ㉖～㉗ 「私」が母から出産の様子を聞いたときの、胸が「ギュッと締めつけられるような思い」とは、どんな思いだろう。

→ 班で交流してから、道徳ノート「かんがえてみよう」に書く。

→ 全体で交流する。

<生活の振り返りから考える発問>

命の重さや尊さを感じた経験がどれくらいあるか、生徒の実態に応じて、発問4-1と4-2を使い分けたり、交流してから自分の考えを書かせるか、書いてから交流するかを使い分けたりする。

導入の質問からある程度の実態をつかむことができる。

発問4-1 今までで命の重さや尊さについて感じた経験はありましたか。

①命の重さや尊さについて感じた経験を思い出そう。(エピソード)

いつ、どこで、どんなことがあったかを書きます。

②そのとき、何を思ったか、感じたかを書きます。

③今、振り返ってみて、そのことについてどう思うかを書きます。

発問4-2 <経験(エピソード)がない人、書きたくない人のために>

今日の授業で、命の重さや尊さについて考えたことを書こう。

→ 班で交流してから道徳ノート“自分に+1”に書く。

または、道徳ノート“自分に+1”に書いてから、班で交流する。

→ 全体で交流する。

3 おわりに

「本当に全員が取り組んでいるか」というのが最近の私のテーマです。自分の考えを書くとき、課題(発問)の内容は理解できているが、何を書いているのかよく分からないという生徒がときどきいます。これを解決するために、班で交流してから書いたり、班で解決してから自分の言葉で書いたりしてはどうかと考えています。

ぜひ、実践していただき、成果と課題を共有したいものです。

4 相談者からの報告

私の案を参考に授業を展開したようです。授業の様子を教えてくださいました。

○赤ちゃんの重さをはじめ、赤ちゃんを体感してもらいたいと考え、家庭科の学習で使う赤ちゃんの人形を教室に持っていきました。

○家庭環境が様々であることから、発問4を次のように変えました。

発問4 自分の命をむだにしない生き方について考えよう。

何を書いてもよいか分からない生徒がいたので、少し解説してから自分の考えを書かせました。